

木と学び、木で囲う

学童机で作る木のパーソナルスペース



平常時



災害発生時

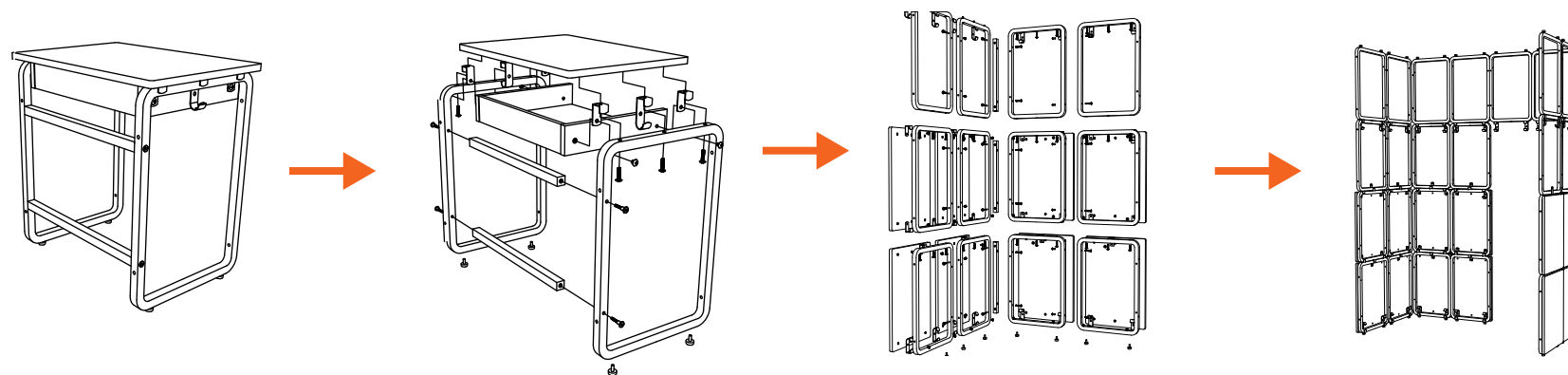
【開発に至った経緯】

学校施設は、災害時の避難所であり物資を集め保管する重要な拠点となります。しかし、学びの場として建てられた学校は避難所として活用する際に、さまざまな問題があることが近年明らかになってきています。

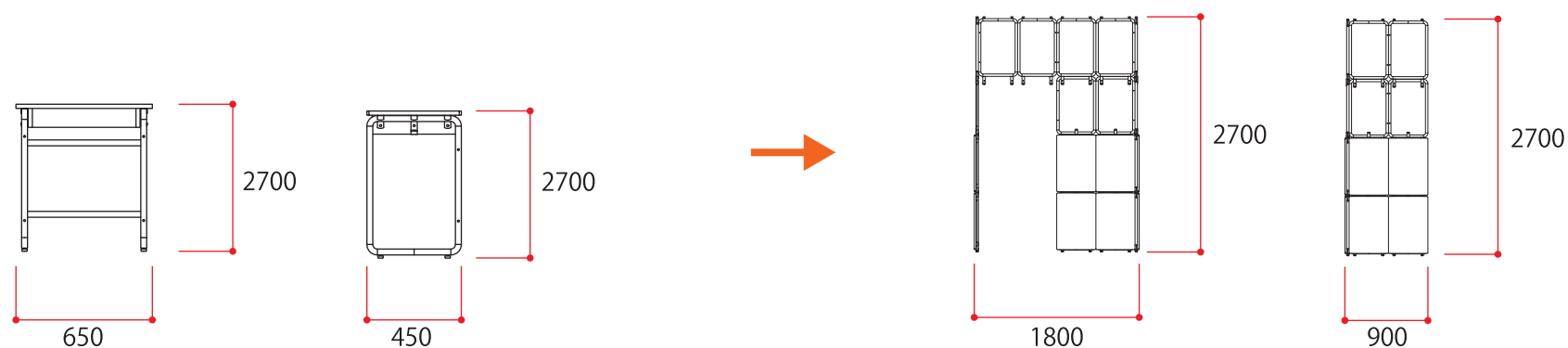
1. 避難所でのパーソナルスペースがないこと。
2. 避難所での生活の妨げになる学童机

これら2つの問題点は東日本大震災の被災者である当社社員が実体験として感じたもので、彼の最初の作業が学童机を外に出す作業でした。そこでこれらの問題点に着目し、災害時に有用な学童机の開発を行うに至りました。

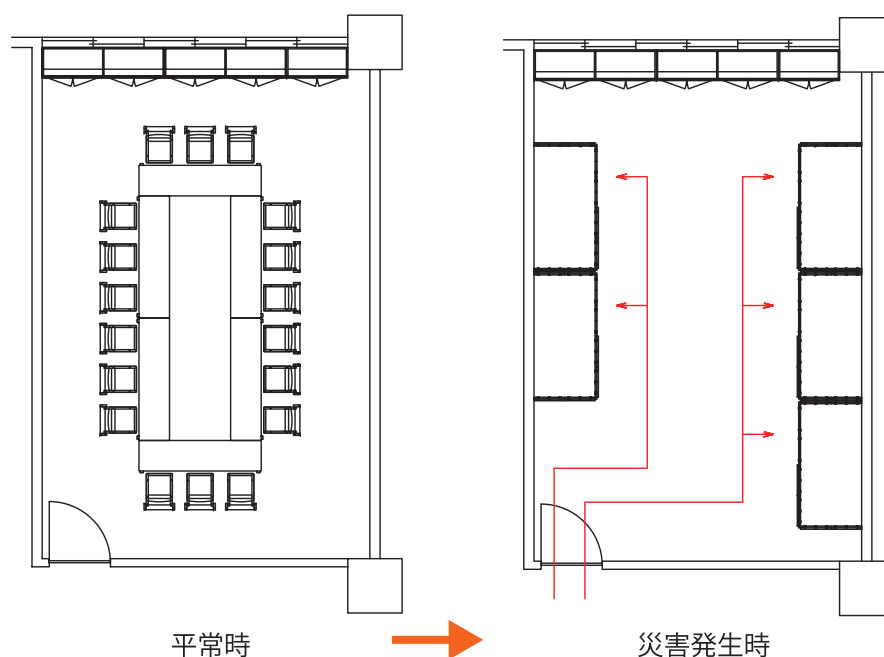
【用途変更手順】 学童机からパーソナルスペースへ



【仕様・サイズ】 天板：メラミン杉芯合板 脚：ブナ杉芯成型合板



【利用例】 会議室や相談室をパーソナルスペースへ



平常時

災害発生時

【平常時の有用性】

- 一般的にスチール脚である学童机に対して、成型合板の脚を学童机に利用することで、空間の温かみやリラックス効果が期待できます。
- 近年注目を集めている、学校内装木質化の意匠性にも合います。
- 学校内で余った学童机をパーツごとに分解できる為、使用しない時はコンパクトに収納することが可能です。

【災害発生時の有用性】

- 避難所内ではパーソナルスペース（授乳、着替え、礼拝など）の確保が難しいとされていますが、脚部や天板を利用してパーティションを組立てられて、プライベートな空間を作ることができます。
- 連結の仕方により、パーティションだけではなく、その他の用途でも使用することが可能です。